



No.44

令和4年3月

■発行/酒田市スポーツ推進委員会 ■編集/同総務企画部会
■責任者/会長 佐藤 紀巳雄(問合せ先:事務局43-6651)

スポーツ



酒田市スポーツ推進委員杯

第4回 ニュースポーツ大会 ~カローリング競技~
~フロアカーリング競技~

コロナに負けずに
スポーツをする・みる・やってみる楽しさ



酒田市スポーツ推進委員会
会長 佐藤 紀巳雄

昨年度から続くコロナ禍により各スポーツ大会が中止や無観客で行われている中、開催が1年延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック」も大半の会場が無観客での実施となりました。このような状況下により、テレビやインターネットによる観戦が主になってしまいました。私自身もテレビの前で日本選手団の応援をしておりましたが、近年の映像技術の向上には驚きを隠せませんでした。まるで会場で観戦しているかのような臨場感を体験でき、今まで以上の感動と興奮を感じることができました。酒田市スポーツ推進委員会では、令和3年度においても市民の皆さんがスポーツを行う機会を作りたいという思いから、感染予防対策を取りながら「酒田市スポーツ推進委員杯第4回ニュースポーツ大会」を開催しました。今年度は「カローリング」に加え、新たに「フロアカーリング」を実施しました。総勢70名以上の方からご参加いただき、楽しんでいただけたことと思います。

軽スポーツに、「モルック」というのがあります。本誌にも簡単な紹介記事を掲載しておりますので一読いただけると幸いです。年齢や性別に関係なく、家族みんなで一緒に楽しめるスポーツです。昨年2月に酒田米菓株式会社さんより市内各地区体育振興会にモルックの用具を寄贈いただきました。コロナ禍でも密にならないスポーツでもありますので、ぜひ皆さんからも楽しんでいただきたいと思います。

コロナ禍に入って3年目ではありますが、心身の健康維持と人や地域とのつながりを深める役割を持つスポーツが今後とも家族や仲間との絆を深め、健康で明るく、活力のある地域社会の実現の支えとなることを願うばかりであります。酒田市スポーツ推進委員会では、このコロナ禍が一日でも早く収束することを願いながら、今後も市民の皆さんと一緒にスポーツができる機会を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



地区紹介



富士見

地域みんなで

山崎 厚

令和3年度は、酒田市の研修会に参加して、フロアーカーリングとモルツクの体験をし、コミセンで新しいスポーツのお披露目会を開催しました。2種目とも子どもから高齢者まで幅広く楽しめ、少人数で出来るので密にならずコロナ禍でも可能なスポーツだと思えます。令和3年度は、コロナ変異種の感染拡大で予定していた行事が次々と中止に追い込まれました。それでも介護予防講座でフロアーカーリングの開催や、富士見小の児童を対象とした夏休み宿題教室で、モルツクを体験してもらうことができました。そんな中、さくらんぼテレビからモルツクの普及活動について取材を受ける機会があり、今までの取り組みを話すことができました。11月には自治会対抗第1回モルツク大会をコミセンで開催することができました。

今後も体育振興会と連携し地域の体育振興に寄与していきたいと思えます。



上田

コロナ禍でのスポーツ

佐藤 智 広

令和3年度もコロナ禍の影響により、例年であれば5月の酒田まつり山車行列参加や6月の地区運動会を始めとする各事業を行うところ、感染防止を優先したため残念ながら全活動を休止せざるを得ませんでした。

本来は、スポーツを通じて健康な体づくりを行うとともに、地域のコミュニケーションを深めることを目的とするものですが、結果としてコロナに罹患しないという意味での健康維持だけに終わりました。

この2年間の運動等をする機会が減ったことによる体力低下を危惧しています。当地区も年々平均年齢が上がる中、筋力の低下による足腰の怪我や心肺機能の低下による体力不足などが懸念され、仕事のみならず普段の生活にも支障をきたす可能性があります。

今後もコロナ対策による制限が予想されますが、各家庭で行える健康増進手段を啓蒙するなど、時代に即した地域スポーツ振興に努めたいと思えます。



令和2年2月開催「上田地区冬季スポーツ大会」

飛島

地域とスポーツ

澁谷 聡

春とはいっても朝夕はまだまだ冷え込みますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。この度は飛島地区でのスポーツの取り組みを紹介いたします。

飛島地区は高齢化が進み小中学校も現在休校になっています。それに伴って、春や秋の大運動会も7年ほど開催されていません。その上昨今のコロナ禍、皆で集まるのが困難になっていますが、そんな中コミュニケーション振興会が中心になって、消毒やマスク着用の徹底をおこなって、冬場の運動不足と閉じこもり予防を目的に12月～3月の間、月に平均2回ほど輪投げ大会を開催しています。デイサービスの方々も一緒になって参加しており、団体戦と個人の順位が付きまますので、皆真剣です。参加者の平均年齢が79歳の輪投げとは思えないほど賑やかな輪投げ大会となります。スポーツを介しての交流は、冬場の飛島にはとても大切な楽しめる時間となっています。



東北地区スポーツ推進委員 功労者表彰を受賞して

本橋地区スポーツ推進委員 佐藤 清志

このたび、東北地区スポーツ推進員功労者表彰を受賞させていただきました。

地元の本橋地区で体育振興会役員として、20代の頃から活動を始め、地区のコミュニティ振興会からの推薦によりスポーツ推進委員として市教育委員会から委嘱され、10数年となります。活動していくうえで、地域の方々からの協力やアドバイス、スポーツ推進委員の先輩や仲間との活動や意見交換など、いろいろな方々からの助けにより、活動を推進できたものと感謝いたします。

平成29年度には、全国スポーツ推進委員連合で開催されたスポーツ推進員リーダー養成講習を受講させていただきました、新任者講習にも関わらせていただいております。

地域の円滑なスポーツ振興のためのコーディネーターとして、これからも活動をしていければと考えております。新型コロナ関連で活動が制限されている今の社会情勢のなか、色々議論を重ねて、より住民が取組みやすい活動ができるよう今後もコミュニケーションを重ねていきますので、よろしくお願いいたします。



第8回酒田スポーツ推進委員 研究協議会

指導普及部会 尾形 律香

全国的にもコロナ第6波のピーク中ではありましたが、2月19日(土)ル・ポットフーにて「スポーツ義足体験授業」を受講することが出来ました。

体験授業ではパラリンピック出場を目標に励んでいらつしやる、山下千絵選手からリモートでお話をお聞きしました。自身の事故からの経緯や、周りの目を気にしていた頃のこと、どんなスポーツを行う際も健常者に混ざり取り組む現在を紹介して頂きました。普段聞けないこともあり、とても有意義な時間となりました。紹介の後、我々もスポーツ義足の体験をさせて頂きました。不安定で怖いというのが初めの感想で、走るには反対の太腿を高く上げなければならず、義足の跳ねる大きさに前のめりに転んでしまいそうで不安でした。義足を使えば速く走れるわけではなく、自身の努力も大変なものがあると感じました。

身近に障害のあることは特別なことではなく、様々な多様性の一つであり、お互いを認め合いスポーツの楽しさやチャレンジすることを、共に感じていきたいらと思いました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。



近頃話題の「モルック」って

どんなスポーツ？

◎モルックとは

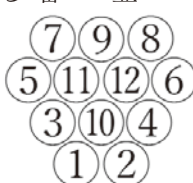
モルックはフィンランドのカトレア地方の伝統的なゲームを基に開発されたスポーツです。主に屋外で競技を行います。敷物等で養生することで屋内でも競技可能です。

◎用具 モルック スキットル



◎ゲームの流れ

1. モルックを投げる位置から3〜4m離れた位置にスキットル下図の順に並びます。



2. じゃんけん等で投擲順を決め、順番にモルックを投げてスキットルを倒します。複数本のスキットルが倒れた場合は「倒れた本数II点数」となりますが1本しか倒れなかった場合は「スキットルに書かれた数字II点数」となります。

3. スキットルは倒された位置に立て直します。

4. 合計得点がぴったり50点になった選手(チーム)が勝者となり、その時点でゲーム終了です。残りの選手(チーム)はその時点で得点が得点となります。※点数が50点を超えた場合、その選手(チーム)は25点からやり直しになります。また、3回連続スキットルを倒せず、失投した場合は0点と記録され、失格になります。

※詳しくは日本モルック協会ホームページを確認してください。



協会HP

令和3年度スポーツ大会成績

◇第4回ニュースポーツ大会

期日：令和3年10月3日

種目：カローリング・フロアカーリング

順位	カローリングの部	フロアカーリングの部
優勝	浜風Z1	中平田
準優勝	東平田C	スポーツ推進委員会
第3位	新堀	ハマダYGスターズ
第4位	東平田B	十坂A

飛鳥スポーツ振興事業

令和3年7月31日(土)にとびしま総合センターにて「フロアカーリング」と「モルック」の講習会を行いました。12名の方から参加いただき、ニュースポーツを楽しんでいただきました。



一般社団法人スポーツ能力発見協会(DOSA協会)のご紹介



協会HP

●DOSA協会とは

子どもたちや障がいのある人たちの運動能力を測定し、長所・短所のフィードバックや向いているスポーツ、運動能力を高める方法のアドバイスを行っています。また、パラアスリートの支援もしている協会です。

●酒田市スポーツ推進委員会との関わり

酒田市スポーツ推進委員会では11月27日(土)に開催した会員研修会にて「フロアカーリング」と「モルック」の研修を行うと同時にDOSA協会ご協力による「大人向け体力測定」を実施しました。普段は子どもを対象として運動能力測定を実施しているDOSA協会ですが、大人向けの体力測定も事業展開しているとのことで、最新の測定方法の知見を広めるとともに、自分自身の体力を再認識することを目的に開催をしました。モーションキャプチャー等最新の機材を使用しての測定となり、疲れず、汗かかず、筋肉痛にもならない測定方法でした。生活習慣アンケートとの組み合わせで、何歳まで健康的に生活できるかの健康寿命や健康寿命を延ばすための運動方法などが個別の測定結果として出てきました。1人当たりの測定時間も短く、会議室程度の大きさで測定が可能のため、社員の健康づくりのための社内イベントとして開催してみたいかがでしょうか。



また、翌日の11月28日(日)にはDOSA協会主催の「DOSAスポーツ能力測定会in酒田市」が開催されました。子どもたちを対象とした運動能力測定となり、市内及び近隣市町から約200名の参加がありました。前日に大人向けの体力測定を体験した酒田市スポーツ推進委員会ですが、子どもの運動能力測定会も見学をさせていただきました。「10mスプリント」「敏捷性」「ジャンプ力」「リカバリーバランス」「反応ステップ」「スイングスピード」の6種目を測定し、測定結果からその子に向いているスポーツの紹介や現在スポーツをしている子にはどのような能力を伸ばすと良いのか、どのようなトレーニングをすると良いのか等のアドバイスを受けました。測定・アドバイスが終わった子どもたちは同会場で運動遊び体験をしました。学校・学年関係なくみんなで楽しそうに遊んでおり、帰り際の子どもたちの笑顔や付き添いの保護者の明るい表情を見て、良い事業だなと感じるばかりでした。

令和4年度 各種スポーツ行事 等スケジュール (予定)

※市関連大会等掲載
※その他各競技大会は、市HP掲載『R4年度酒田市スポーツカレンダー』を参照下さい

- 4月27日(水) 第66回山形県縦断駅伝競走大会【～29日(金：祝日)】
- 5月各週 第76回酒田市体育大会(開催日程・会場：競技ごと)
- 7月 3日(日) 第50回酒田市民体育祭(於：光ヶ丘陸上競技場)
- 9月25日(日) ファミリー体力向上事業(市民体力測定会)(於：親子スポーツ会館)
- 10月 2日(日) 第5回酒田市ニュースポーツ大会(於：親子スポーツ会館)
- 10月16日(日) 第11回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会
- 10月29日(土) 2022-23 Vリーグ酒田大会【～30日(日)】(於：国体記念体育館)
- 11月13日(日) 第17回市巡回駅伝競走大会
- 11月20日(日) 第38回県女子駅伝競走大会
- 令和5年
- 2月11日(土) 2022-23 Vリーグ酒田大会【～12日(日)】(於：国体記念体育館)